

HELLO SAGA



佐賀県国際交流・協力情報誌

心の国境をなくそう！
Free your heart of borders!

SNSで人気のインフルエンサーが佐賀に！



日時: 11月29日(土)

13:30~15:00 *開場13:00

場所: 佐賀商工ビル7F 大会議室

参加費: 無料(事前申込み)

10月1日(水)
受付開始!

申込みフォーム



公演後に
記念撮影タイムも
あります



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

Saga Prefecture International Relations Association (SPIRA)

さが多文化共生センター Center for Multicultural Society in Saga

佐賀県国際交流プラザ Saga International Plaza

〒840-0826

佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル 1階

Saga Shoko Build. 1F 2-1-12 Shirayama, Saga City

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail: info@spira.or.jp

Consultation Service(相談専用) TEL:0952-22-7830



SPIRAイベントチェック



HELLO SAGA
バックナンバー

※2021年4月1日より、佐賀県国際交流プラザは、佐賀県国際交流協会が運営管理しています! ご利用をお待ちしております。

ボランティア通訳セミナー

佐賀県国際交流協会では、通訳や翻訳により、外国人の方への支援を行うボランティアを常時募集しています。通訳ボランティアの養成のために、全国医療通訳者協会代表でプロ通訳の森田直美氏にお越しいただき、講座を行います。



通訳に求められるスキルとコミュニケーション力

森田 直美氏

一般社団法人全国医療通訳者協会代表

日時 2025年11月15日(土) 13:00~15:00

場所 佐賀商工ビル7階 大会議室

参加費 無料

対象 佐賀県民(外国語をお話しにならなくても大丈夫です)



上記の講座のお申し込みはこちらから

ゆる〜く、たのしく 文化とことば講座

お子様連れも歓迎♪

SPIRAには、災害時に翻訳をお手伝いいただく「多言語パートナー」という心強い仲間がいます。その「多言語パートナー」たちに母国の文化やかんたんな言葉、お料理を紹介してもらう講座が始まります。会場は佐賀県国際交流プラザです。あなたは、どの国にする？ ぜんぶ参加する？



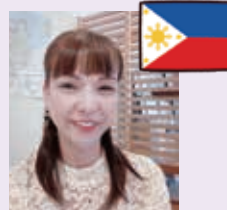
ミャンマー出身
ケイさん



ネパール出身
アスミタさん



ベトナム出身
ハオさん



フィリピン出身
リザさん



詳しくはこちらのQRコードから

Thank you for coming

8月2日には日本WHO協合理事長中村安秀先生を講師にお迎えした講演会「医療は文化です〜多文化社会共生社会における医療通訳の大きな役割〜」を、23日には医療通訳研究会(MEDINT)代表の村松紀子氏を講師にお迎えし「実践から学ぶ通訳者としての心構え」を開催しました。また、7〜8月のプラザでのイベントには多くの子どもたちも参加してくれました。大人も子供も積極的に交流されている様子を見て、私達もあたたかい気持ちになりました。SPIRAでは毎年10月を国際交流推進月間とし、SPIRAさが国際交流フェスタ(嬉野市)をはじめ沢山のイベントを予定しています。ぜひご参加ください!



7/26 JICA x SPIRA 「ちかっとTICAD」



8/2
「医療は文化です
〜多文化社会共生社会における
医療通訳の大きな役割〜」

8/17 プラザイベント
「辛さで出会う国際交流」



7/27 プラザイベント
「အရသာ!ミャンマー家庭料理」



8/23
「実践から学ぶ
通訳者としての心構え」



JICA OB・OG通信

JICAの皆さんはどんな活動をしているの？JICA海外協力隊やシニア海外ボランティアとして実際に派遣されていた方から、その活動についてお聞きます！



宮原 洋一さん

派遣国：ザンビア共和国

職種：理数科教師

<経歴>

大学卒業後、佐賀県立高校教諭（理科（生物））5年間を経て、JICA青年海外協力隊（平成14年（2002年）1次隊）へ。（現職教員特別派遣制度）



Q1. 派遣先のザンビアってどんな国？

ザンビア共和国はアフリカ南部の内陸国で、首都はルサカです。1964年にイギリスから独立しました。20年前の人口は約1,200万人でしたが、現在は約2,000万人に増加しています。主要産業は銅の採掘で、世界有数の銅産出国として経済の柱となっています。また、農業も重要で、トウモロコシなどの作物が広く栽培されています。気候は熱帯サバンナ気候で、雨季（11月～4月）と乾季（5月～10月）に分かれており、標高が高いため年間を通して温暖で過ごしやすいです。観光資源としては、世界的に有名なビクトリアの滝や豊かな野生動物が見られる国立公園があり、多くの観光客を魅了しています。一方、公衆衛生の面ではHIV/AIDSやマラリアが依然として深刻な課題で、国の発展に影響を及ぼしています。

Q2. 派遣時の活動内容について教えてください。

私の任地は、ザンビアの地方都市カデテから約10km奥地にあるチサレ中高等学校でした。学校敷地内に教員住宅があり、私もそこで生活していました。ザンビアではHIVの影響で教員不足が深刻で、特に理数系教師の不足が課題です。私はクラス担任と生物の授業を担当しましたが、教科書は英語で書かれており、内容も日本のものとは大きく異なっていました。特に日常生活に密着したトピックや地域の感染症などが重視されており、翻訳と内容理解に多くの時間を要しました。参考書や問題集もないため、1回の授業に5時間ほど準備が必要でした。生活面では電気・水道がなく、井戸から水をくみ、炭に火を起し、10km先の市場へ買い物に通う日々でした。そんな私を支えてくれたのは、近所の子どもたちでした。

Q3. 派遣中の一番の思い出は何ですか？

任地での最初の1年間は、生活と活動に慣れることを重視しました。私はその学校に派遣された初代の青年海外協力隊（日本人）であり、現地の先生方に協力隊の得意・不得意を理解してもらうことも大切だと考えました。次第に生徒の様子が変わるようになり、遠方から通う生徒たちは学校近くに土壁と茅葺きの家を自ら建て、そこから通学していることを知りました。彼らは夜、真っ暗な教室でろうそくの明かりだけを頼りに勉強していました。そこで「協力隊を育てる会」の「小さなハートプロジェクト」に応募し、2000ドルの支援を受けてソーラーパネルシステムを導入。教室に一晚3時間ほど明かりを灯せるようになりました。さらに、情報不足の解消を目指してテレビモニターとビデオデッキを設置し、教材ビデオの視聴も可能にしました。導入にあたっては、見積もり、業者選定、工事計画に加え、持続可能な活用方法を現地の先生方とともに検討しました。

Q4. 帰国後のお仕事について教えてください。

私は現職教員として青年海外協力隊に参加し、任期終了後の3月末に帰国、4月から佐賀県立厳木高校に教諭として赴任しました。その後、神埼高校、唐津東高校、小城高校に勤務し、各校で理科（生物）の授業とソフトテニス部の顧問を担当し、生徒の成長を支えてきました。また、地球発見隊の出前講座の講師として、県内の小・中学校でザンビアや協力隊について紹介する活動も行ってきました。そして本年度より、佐賀商業高校定時制に教頭として勤務しております。これまでの経験を活かし、今後も教育現場で地域や生徒に貢献していきたいと考えています。

JICAボランティアに関するお問合せ・連絡先

（公財）佐賀県国際交流協会内 JICAデスク佐賀 石川 洸

TEL:0952-25-7921 FAX:0952-26-2055

E-mail:jicadpd-desk-sagaken@jica.go.jp

国際交流ワークショップ in TAKU

「アートと日本語でいろいろな国の人とふれあおう」をテーマに、8月3日に多久市まちづくり交流センターあいぱれっとにて「国際交流ワークショップ in TAKU」を開催しました。（多久市、西九州大学短期大学部、佐賀県 共催）当日は、多久市及びその周辺にお住いの日本人や外国人、西九州短期大学の学生、高校生を含むボランティアのみなさんなど、約40名の方が参加されました。



3回目となる今回も、西九州大学短期大学部の牛丸和人教授の進行のもとワークショップがスタート。

交流する上で会話が大切であることを学んだあと、自己紹介を通してお互いを知り、グループに分かれて思い思いに小さなハートを作りました。

どのグループも、作業中にたくさん会話をし、会場は大盛り上がり。笑顔あふれる姿が印象的でした。

最後は、各自で作った小さなハートを持ち寄って大きなハートに仕上げ、素敵な作品が完成！

参加者のみなさんからは、「日本人やいろいろな国の人と話すことが楽しかった」「もっと日本語を使って交流をしたい」「またこのような交流があれば参加したい」など、多くの声を聞くことができました。

佐賀県では、今後も市町や団体等と連携し交流の場を作ることで、多文化共生の地域づくりを進めていきます。

ご参加
ください

～佐賀さいこう！国際運動会～

11月はスポーツで交流しましょう！佐賀県主催で外国人と日本人が運動をとおして交流できるイベントです。詳細はホームページをご覧ください。



佐賀県地域交流部多文化共生さが推進課 TEL 0952-25-7328

「第10回 SPIRA日本語スピーチコンテスト」を 聞きに来ませんか？

今年で10回目を迎える日本語スピーチコンテスト。

スピーチを聞いて、一緒に多文化共生について考えましょう。ぜひ観覧にお越しください！

日時

2025年
10月12日(日)
13:00～17:00

場所

佐賀市文化交流プラザ
交流センター
エスプラッツホール

(佐賀市白山2丁目7-1 エスプラッツ3F)

※お車でのご来場の場合は、エスプラッツ北側の
永池本店駐車場をご利用ください。

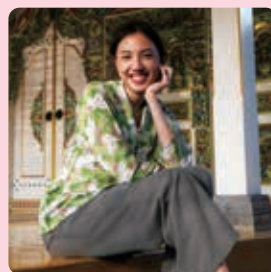
入場料

無料・申し込み不要

スピーチコンテストは
YouTube生配信します。
QRコードから視聴できます。



今年はダンサーのアリエルさん (インドネシア出身) による
スペシャルパフォーマンスも！



SPIRA ～賛助会員ご加入のお願い～

SPIRAでは「Free Your Heart of Borders! 心の国境をなくそう!」をスローガンに、多文化共生事業に力を入れています。

私たちSPIRAの応援団に加わっていただけないでしょうか。
ともに、「こころの国境のない」佐賀県を作り上げましょう！

個人

年額 3,000円 (都度・継続)
月額 500円～

団体

年額 10,000円 (都度・継続)



詳細については、
QRコードから
お進みください。